

【社会科・中1・「第2節 ヨーロッパ州」①】

育成を目指す資質・能力

EU統合による国同士の結びつきに着目し、人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し理解する。

ICT活用のポイント

ICT端末上でのシンキングツール（Yチャート）と、これまで活用してきたホワイトボードの併用

【本時のめあてをつかむ】

EU加盟国の国境検問所と、他国同士の国境の様子の違いから、EU加盟国同士の関わりに興味をもち、めあてから学習の見通しをもつ

ヨーロッパでは、国境を越えた結びつきが強まることにより、人々の生活にどのような変化が見られたのだろうか？

【情報収集→考察】

EUが誕生した背景を把握し、EUとして国同士の結びつきが強くなることにより、「人、物、貨幣」がどのように変化し、人々へどのような影響を与えたのか追究する。

【本時のまとめをし、振り返りをする】

EU加盟国間における「人」「物」「貨幣」の自由な移動が、人々の生活や経済に与えた影響と、その変化を理解できるようにする。

事例の概要

- EUに加盟することにより、「人の動き」「物の動き」「貨幣の統一」が、どのように変化したのかを調べ、それぞれの視点ごとに分けてYチャートにまとめる。
- Yチャートにまとめた社会的事象の特色や意味を根拠とし、人々の生活や経済の変化をホワイトボードにまとめ発表する。

事例におけるICT活用場面①

- EUに加盟することにより「人の動き・物の動き・貨幣の統一」がどのように変化したのかYチャートを用いて整理しまとめる。
- Yチャートを用いて、視覚的に捉え、人々の生活の変化や経済に与えた影響について関連性を考え、変化をまとめる。

事例におけるICT活用場面②

- Yチャートにまとめた情報を根拠とし、EU加盟による人々の生活の変化や経済への影響についてグループで意見交流し、ホワイトボードにまとめ、発表する。
- グループで考察したことを全体で共有し、EU加盟により、人々の生活が豊かになり、経済が発展したことについて理解を深める。

【社会科・中1・「第2節 ヨーロッパ州」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



写真1



写真2

学習支援ソフト上のYチャートを用いて、EU加盟による変化を「人、物、貨幣」の3つの視点で分類・整理し、EU加盟国同士の関連性を視覚的に捉えることができた。

【写真1】

生徒一人一人がEU加盟による、「人、物、貨幣」の変化についてYチャートを用いて、それぞれの視点で分類・整理する。

【写真2】

3つに分類・整理した後、グループで共有し、資料等を根拠に、EU加盟国内における「人、物、貨幣」の変化が、人々や経済にどのような影響を与えたのか意見交流する。

【事例におけるICT活用の場面②】

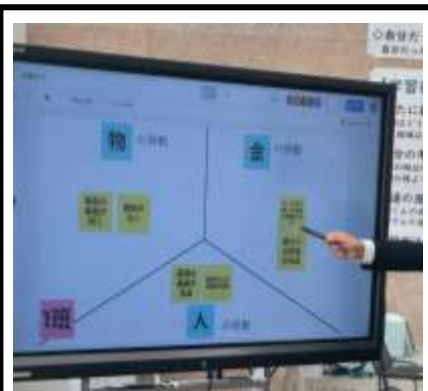


写真3



写真4

Yチャートを全体で共有し、EU加盟による人々の生活の変化や経済への影響について、多面的・多角的に考察し、今まで活用し慣れたホワイトボードにまとめ、発表する。

【写真3】

Yチャートを全体で共有し、EU加盟国同士による結びつきとEU加盟による人々の生活の変化や経済へ与えた影響を関連させ、多面的・多角的に考察する。

【写真4】

ホワイトボードを活用し、EU加盟による生活の変化や経済への影響について、まとめている。これまで活用してきたホワイトボード等の教具とICTを場面に応じて効果的に活用する。

【活用したソフトや機能】

・学習支援ソフト・電子黒板